

世界への挑戦



重量挙げ部・三宅宏実選手 (キャリアデザイン学部3年)。2006年に世界選手権の48kg級で銅メダルを獲得。メキシコ五輪銅メダリストの父・三宅義行氏 (1968年経営学部卒) の指導を受けながら北京五輪に向けて挑戦が続く。

法政大学報

郵便番号 102-8160
東京都千代田区富士見
2丁目17番1号
発行 法政大学
編集 総長室

第29号 主な内容

| | |
|---|---|
| 「法政ラニア」初開催 広島、札幌で過去最大の入試改革を実施 特色ある高等教育への取組 新司法試験と法政大学法科大学院 座談会 21世紀の「リーディング・ユニバーシティ」に向けた大学の改革 | (2面) (3面) (4面) (5面) (6・7面) |
| net2006スタート OB訪問・株式会社ヒックカメラ 代表取締役社長 宮嶋宏彦氏 付属校短信 「リーディング・ユニバーシティ」法政 募金にご協力ください 地域・学校などとの連携 | (8面) (9面) (10面) (11面) (12面) |

最新情報は

<http://www.hosei.ac.jp/>

成熟学歴社会と私立大学

巻頭言



総長

平林千牧

よく指摘されてきたように、わが国の中等教育および高等教育の普及度についてみれば、前者は限りなく完成したレベルにあり、後者は進学率50%を超え、総合すると先進国の中でもきわめて高い水準の教育普及を実現している。

そこで、こうした普及状況を踏まえ、わが国の社会を「成熟学歴社会」(吉川 徹・大阪大助教授)と特徴付けることが可能になっている。とりわけこの「成熟」については、現在の大学進学生生の両親は基本的には大学を卒業し、すでに高等教育機会の享受者であり、これによって高等教育というステータスを理解し体現しているという性格が付されている。つまり、現代の大学生は、世代的には、両親が「大学」教育を通して得た生活条件の向上を最早一般的には超えることがない、という意味で学歴上の成熟状態といえる。

ところで、この成熟状態と教育関係支出との連関はどうかであろうか。これもよく指摘されることだが、わが国の国家予算における高等教育関係支出のGDP比は、他の先進国に比較しかなり小さい。OECD諸国平均1%強に対し、わが国はその1/2に満たない。国家予算からの支出という点では、おそらく中等教育までの範囲では、基本的に必要な経費支出を満たしていると判断可能であろう。他方で、高等教育については、その点はなほ不十分なのが現状である。とりわけ、私学は不利な条件に置かれている。そこで、すぐ気付くことになるのだが、ここでは成熟学歴社会と国家の高等教育支出とが対応していないという意味で、「成熟の非対称性」が存在する。つまり、この成熟はなるほど社会的には成立しているのだが、私学から見るとはなはだ私的・個人的な条件の下に可能になっている状態だということになる。今日、最も重要な高等教育の役割に占める私大の比重の大きさをみても明らかであろう。私立大学の改革が急がれる理由の一つもここにあるであろう。すなわち、この「成熟」が大きく個人の負担で可能になっているとすれば、高等教育費負担者の大学に対する選別は厳しいものとなるからである。「教育の品質保証」そのものが問われている。

他方、同じ「成熟」は、大学進学者に対する選別を強め、かつ、将来の進路選択を難しくする。「成熟学歴社会」に随伴するフリーター、ニートという問題は、いわばこの選別・選択の厳しさに対する別の形の表現とみなすべきことである。ここでも大学は教育の在り方を問われている。私立大学が引き受けている人材教育に対し、成熟学歴社会からのこの二つの見方あるいは要求を的確に理解することがなければ、その私学の将来は危ない。

過去最大の入試改革を実施

—07年度から全国各地で入試展開

2007年度 法政大学入学試験日程一覧

【一般入試 T日程】札幌・仙台・東京・新潟・金沢・長野・名古屋・大阪・広島・福岡の10会場実施

| 学部 | 学科 | 郵送出願期間 (締切日消印有効) | 試験日 | 合格者・補欠者 発表日時 |
|------------------|---|------------------------|----------|----------------------|
| 経済学部 (T日程) | 経済学科 国際経済学科 現代ビジネス学科 | 1月5日 (金) ~1月26日 (金) | 2月5日 (月) | 2月13日 (火) 10:00から |
| 人間環境学部 (T日程) | 人間環境学科 | | | 2月14日 (水) 10:00から |
| キャリアデザイン学部 (T日程) | キャリアデザイン学科 | | | 2月14日 (水) 10:00から |
| 法学部 (T日程) | 法律学科 政治学科 国際政治学科 | | | 2月14日 (水) 10:00から |
| 情報科学部 (T日程) | コンピュータ科学科 デジタルメディア学科 | | | 2月15日 (木) 10:00から |
| 工学部 (T日程) | 機械工学科 物質化学科 情報電気電子工学科 電子情報工学科 システム制御工学科 経営工学科 生命機能工学科 | | | 2月15日 (木) 10:00から |
| デザイン工学部 (T日程) | 建築学科 都市環境デザイン工学科 システムデザイン学科 | | | 2月15日 (木) 10:00から |
| 経営学部 (T日程) | 経営学科 経営戦略学科 市場経営学科 | | | 2月16日 (金) 10:00から |
| 社会学部 (T日程) | 社会政策科学科 社会学科 メディア社会学科 | | | 2月16日 (金) 10:00から |
| 文学部 (T日程) | 哲学科 日本文学科 英文学科 史学科 地理学科 心理学科 | | | 2月17日 (土) 10:00から |
| 国際文化学部 (T日程) | 国際文化学科 | 2月17日 (土) 10:00から | | |
| 現代福祉学部 (T日程) | 現代福祉学科 | 2月19日 (月) 10:00から | | |

【一般入試 A方式】札幌・東京・名古屋・大阪・福岡の5会場実施

| 学部 | 学科 | 郵送出願期間 (締切日消印有効) | 試験日 | 合格者・補欠者 発表日時 |
|------------------|---|------------------------|----------|----------------------|
| 経営学部(A方式I日程) | 経営学科 | 1月5日 (金) ~1月30日 (火) | 2月7日 (水) | 2月16日 (金) 10:00から |
| 文学部(A方式I日程) | 哲学科 日本文学科 地理学科 | | | 2月17日 (土) 10:00から |
| 経営学部(A方式II日程) | 経営戦略学科 市場経営学科 | | | 2月16日 (金) 10:00から |
| 文学部(A方式II日程) | 英文学科 史学科 心理学科 | | | 2月17日 (土) 10:00から |
| 法学部(A方式I日程) | 国際政治学科 | | | 2月18日 (日) 10:00から |
| 情報科学部 (A方式) | コンピュータ科学科 デジタルメディア学科 | | | 2月15日 (木) 10:00から |
| 経済学部(A方式I日程) | 国際経済学科 現代ビジネス学科 | | | 2月18日 (日) 10:00から |
| 社会学部(A方式I日程) | 社会政策科学科 メディア社会学科 | | | 2月19日 (月) 10:00から |
| 現代福祉学部 (A方式) | 現代福祉学科 | | | 2月19日 (月) 10:00から |
| 工学部(A方式I日程) | 物質化学科 電子情報工学科 システム制御工学科 | | | 2月20日 (火) 10:00から |
| デザイン工学部(A方式I日程) | 都市環境デザイン工学科 システムデザイン学科 | 2月20日 (火) 10:00から | | |
| 経済学部(A方式II日程) | 経済学科 | 2月21日 (水) 10:00から | | |
| 社会学部(A方式II日程) | 社会学科 | 2月21日 (水) 10:00から | | |
| 工学部(A方式II日程) | 機械工学科 物質化学科 情報電気電子工学科 経営工学科 生命機能工学科 | 2月23日 (金) 10:00から | | |
| デザイン工学部(A方式II日程) | 建築学科 | 2月23日 (金) 10:00から | | |
| 人間環境学部 (A方式) | 人間環境学科 | 2月24日 (土) 10:00から | | |
| 国際文化学部 (A方式) | 国際文化学科 | 2月25日 (日) 10:00から | | |
| 法学部(A方式II日程) | 法律学科 政治学科 | 2月26日 (月) 10:00から | | |
| キャリアデザイン学部 (A方式) | キャリアデザイン学科 | 2月26日 (月) 10:00から | | |

【大学入試センター試験利用入試】

| 学部 | 学科 | 郵送出願期間 (締切日消印有効) | 試験日 | 合格者・補欠者 発表日時 |
|------------|---|------------------------|-------------------------|----------------------|
| 法学部 | 法律学科 政治学科 国際政治学科 | 1月5日 (金) ~1月19日 (金) | 1月20日 (土) ~1月21日 (日) | 2月11日 (日) 10:00から |
| 文学部 | 哲学科 英文学科 史学科 地理学科 | | | 2月11日 (日) 10:00から |
| 工学部 | 機械工学科 物質化学科 情報電気電子工学科 電子情報工学科 システム制御工学科 経営工学科 生命機能工学科 | | | 2月12日 (月) 10:00から |
| デザイン工学部 | 都市環境デザイン工学科 システムデザイン学科 | | | 2月12日 (月) 10:00から |
| 情報科学部 | コンピュータ科学科 デジタルメディア学科 | | | 2月12日 (月) 10:00から |
| 経済学部 | 経済学科 国際経済学科 現代ビジネス学科 | | | 2月13日 (火) 10:00から |
| 現代福祉学部 | 現代福祉学科 | | | 2月13日 (火) 10:00から |
| 人間環境学部 | 人間環境学科 | | | 2月14日 (水) 10:00から |
| キャリアデザイン学部 | キャリアデザイン学科 | | | 2月14日 (水) 10:00から |
| 社会学部 | 社会政策科学科 (4科目型) 社会政策科学科 (3科目型) 社会学科 メディア社会学科 | | | 2月16日 (金) 10:00から |
| 経営学部 | 経営学科 経営戦略学科 市場経営学科 | 2月16日 (金) 10:00から | | |

全国型への回帰
 本学は、2007年度入試において、「T日程入試」の導入と「A方式入試」の全国展開というこれまでにない大きな2つの入試改革を行う。キーワードは全国各地域での受験機会の増による「全国型への回帰」といえる。

T日程入試
 本学T日程入試は、東京、札幌、仙台、新潟、金沢、長野、名古屋、大阪、広島、福岡の10会場を実施することになる。これは、近年首都圏の他大学で実施している統一入試に同一の問題によって全学部が一律に入試を実施するという統一入試ではない。学部独自のアドミッシンポリシーのもとに、独自色を打ち出した型の入試である。したがって2科目入試あり、3科目入試あり、小論文入試ありと科目数や科目の内容もさまざまである。このため、あえて「統一入試」とはせず、あくまでも「統一」

A方式入試
 このA方式入試と呼ぶが、このA方式入試を新たに全国展開することになる。会場は東京、札幌、名古屋、大阪、福岡の5つの地域に設定する。前述のT日程入試と同様に全国各地の優秀な受験生に対して、受験機会をより多く提供するため試を実施している日には必ず地域4会場でも入試を実施するというものである。

A方式入試の全国展開
 このA方式入試は、2007年度から複数学部の乗り入れ入試（同一試験日に複数の学部が入試を実施する）となり、これまで、学部単独で実施していた時には実現が困難であった選択科目の増も実現した。また、3学部以上を有するすべての学部は、併願に影響のない学科の組み合わせに

よって、I日程とII日程に分割し学部内の他学科併願が可能になる。今回の入試改革に伴い入試センターでは、これまでキャンパスでのみ6月に2回開催していた高校進路指導教員対象の大学説明会を地域入試実施会場の全エリアに拡大して開催するなど、新たな広報活動を行っている。また、法政大学校友会連合会、法政大学後援会の協力を得て初めて広島および札幌で開催された「法政フェア」にも表われているように、まさに本学の総力を挙げて入試改革へ向けて邁進しているところである。

「全学連」を名乗る学外団体の妨害行為に 対する本学の対応について
 本学は、従来から、学設置や掲示物についての生課外活動の一環として行われる掲示物や立看板等による宣伝・広報活動の意義を認識してきました。しかしながら、掲示物の無秩序な掲示、学生・教職員の通用口を塞ぐような巨大な立看板の設置等、学生本来の宣伝・広報活動の目的を逸脱した行為が目立っていることを受け、2006年3月に、より良いキャンパス・アメニティを実現するために「市ヶ谷キャンパスにおける掲示物に関するルール」を作成し、学生に理解と協力を求めました。また、2006年に入ってから、キャン

設置や掲示物についての原則を定め、学内に對する周知を行ってきました。具体的には、立看板の設置や掲示物は本学学生を構成員とする学内団体に限定し、作成者の氏名、団体名及び連絡先等、身元を明らかにしたものと認めることとし、学外団体のものや違反したものは撤去するというものです。

これに対して、2006年3月、「全学連」を名乗る学外団体は、看板撤去に反対する内容の立看板を無許可で設置し、事務室内で教職員の業務を妨害する行為を繰り返して行っていました。とりわけ3月14日(火)

は、本学が定める必要な手続を経ることなく設置されていた立看板を本学教職員が撤去しようとした際に、実力をもってこれを阻止しようとしたため、学内の力だけで事態を収束することは困難と判断し、やむなく警察に通報せざるを得ない状況に至り、学内において逮捕者を出す事態となりました。

これらの業務妨害を行った者の中に、本学の学生5名が確認されました。大学としては慎重な審議と正当な手続きを行った上で、このうち3名(当時文学部所属)を退学処分とし、その後、法学部学生2名を停学処分としました。

本学は、思想信条や表現の自由を保障する立場を従来から堅持してまいりますが、このようにキャンパスを混乱させる行為は認められません。また、大学内であっても一般社会のルールは守らなければならぬものと考えており、安全で良好な学習環境の維持、向上をキャンパス内において図ることが大学の責務であると認識しております。今後も一部の者による本学運営に対する妨害行為については毅然たる態度をもって臨み、教育機関としての使命を全うする所存であります。

特色ある高等教育への取組

文部科学省採択の現代GPから

学生のキャリア意識・職業意識の質的強化をめざして

児美川 孝一郎(キャリアデザイン学部助教)

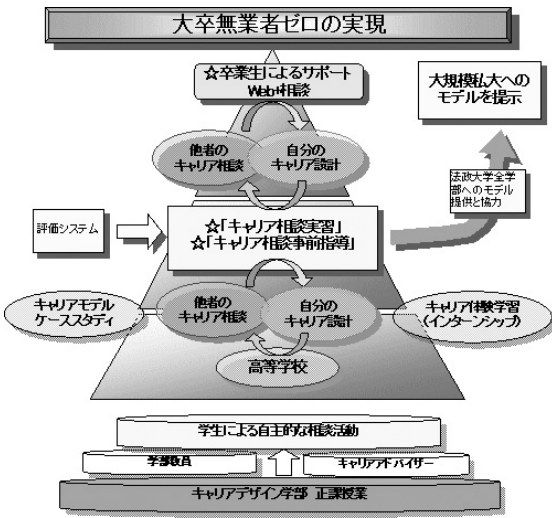
本学部の「大規模私大での卒業生ゼロ」をめざす取組が、文部科学省平成18年度「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」に採択された。

若者の職業意識の低下が社会問題となっているが、その背景には今日の若年層において、自分と社会をつなげる力が急速に弱まっているという状況がある。本プログラムは「就職できる能力」の育成を念頭に置きつつも、根本的には「就職後も自立的に自らの人生をつくることのできる能力」の形成、そのための核となる「他者を支援すること」で自らも成長する能力の養成をめざしている。

キャリアデザイン学部は創立4年目の新設学部であるが、学生たちは自主活動として、下級生や高校生を対象とするキャリア相談に取り組み、キャリア相談を行う学生自身の成長を促し、本学部が重視するキャリアデザインマインド

「キャリアデザイン学部」を必修科目として新設する。「事前指導」では、担当教員と今回新たに採用するキャリア相談アドバイザーが連携して、一人一人の学生の特性に応じた実習計画を作成し、キャリア相談についての知識・倫理やスキルの形成

「キャリア相談事前指導」および「キャリア相談実習」を必修科目として新設する。「事前指導」では、担当教員と今回新たに採用するキャリア相談アドバイザーが連携して、一人一人の学生の特性に応じた実習計画を作成し、キャリア相談についての知識・倫理やスキルの形成



新たな国際遠隔教育の実践

事業推進責任者 IT研究センター副所長・工学部教授 小林尚登

法政大学情報技術(IT)研究センターで実施する取り組みは、平成16年度現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)に選定され、「新しい国際遠隔教育の構築に向けて」コンテンツ開発とオンデマンド教育」の事業名称で本学における新たな国際遠隔教育の実践に取り組んでいる。

本学では、これまで当センターを中心にさまざまなリアルタイム双方向国際遠隔教育を実施してきた。現代GPの取り組みでは、これをさらに発展させ、国際遠隔教育における「時空上・施設上の制約」の改善を図るため、デジタルコンテンツ

の作成を行うことで「オンデマンド教育システム」を構築し、配信可能地域の拡充等によって教育内容のさらなる充実を図ることを目指している。これまで3キャンパス横断で授業展開するSSI科目「スポーツ指導論」のコンテンツ化により、新たにスウェーデンの教員も講義を担当することが可能となった。

現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)「地域の中小企業活性化と実践的体験教育」コンサルティングと課題解決教育の構築」は、今年度で文部科学省の補助事業としては終了する。文部科学省も強く継続を期待しており、大学の事業として継続されることになった。

当プログラムは学生に中小企業のコンサルティングを体験させて、課題解決能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力などを向上させるというものである。上野や浅草といった東京都台東区内には、多数の

イ校(CSUB)との協定により、卒業後同校MBA課程に進学した場合に本学で取得した単位が既取得単位として認定され、留学期間の短縮が図れるというメリットも享受できる。

このほか、これらの授業では、学習効果を高めるため、当センターが参加する世界的研究プロジェクト(Sakaiプロジェクト)にて開発中のCMS(コース・マネジメント・システム)も採用している。

当センターでは、このようなさまざまな先端技術を実際の教育現場に還元することで、教育環境の改善を図るとともに、優れた教育プログラム作りの一翼を担っている。

【ホームページ】
<http://www.w9.i.hosei.ac.jp/gp/>



システム上で視聴するオンデマンドコンテンツ



リアルタイム授業の様子

現代GPの最終年度にあたって

地域研究センター副所長 社会学部教授 岡本義行

現代的教育ニーズ取組支援プログラム(現代GP)「地域の中小企業活性化と実践的体験教育」コンサルティングと課題解決教育の構築」は、今年度で文部科学省の補助事業としては終了する。文部科学省も強く継続を期待しており、大学の事業として継続されることになった。

当プログラムは学生に中小企業のコンサルティングを体験させて、課題解決能力、コミュニケーション能力、プレゼンテーション能力などを向上させるというものである。上野や浅草といった東京都台東区内には、多数の

地域の方と打ち合せする学生

学内トピック

■本学で東京大学大学院の集中講義開催

8月30日〜9月2日の4日間、本学九段校舎で、東京大学大学院教育学研究科大学院経営・政策コース(金子元久教育学部研究科)の夏季集中講義の一部が行われた。

同大学院では、大学院のマネジメントについて研究しており、ここ数年、改革に目覚ましい成果をあげている本学が事例研究の対象となった。本学からは、上遠野秀夫 天施設部長、山鹿立雄学務部長、妹尾毅総務部長、清成忠男学事顧問(義日程順)の各担当者が、テーマに沿ったレクチャーを行い、学生から活発な質問があった。学生の間では、現役の学校法人の役員や大学の職員といった社会人であるため、非常に的確で、鋭い視点で議論された。

■FDシンポジウム開催
法政大学第3回FD(フアカルティ・ティベック)の授業の一環として、ロップメント)シンポジウム「大学の理数教育を立て直す―基礎学力と学習意欲の向上をめざして」(FD推進センター主催)が10月7日、学内外から講師を招き、小金井キャンパスで行われた。シンポジウムでは、「学生の基礎学力の向上」や「学習意欲の維持」などについて、実践例を交え、報告とパネルディスカッションで方策を論じた。

また、11月18日には、市ヶ谷キャンパスで第4回FDシンポジウム「大学教育に役立つ評価」を開催する。GPA、授業評価の活用とその実践」が開催された。シンポジウムでは、大学教育における評価のあり方や、GPAの活用方法、学生の学習を支援する成績評価について、発表とパネルディスカッションが行われた。

■新司法試験合格者祝賀会を開催
9月30日、千代田区のアルカディア市ヶ谷で新司法試験に合格した23人の「新司法試験合格者祝賀会」が開催された。

元最高裁判所判事の遠藤光男氏(1952年本法学部卒)をはじめとする法曹関係者、恩師である法科大学院の教員、講師など関係者約60人が出席し、合格者たちにお祝いと激励の言葉が贈られた。

■法科大学院に開設されている無料法律相談所
法科大学院(千代田区九段北3-3-12)では、「リーガルクリニック」の授業の一環として、無料法律相談所を開設している。相談には、専任教員である弁護士や協力弁護士がある。相談内容に制限はないが、クレジットについては、弁護士会などから紹介している。法科大学院の院長が相談の場に立ち会うこともあるが、秘密は厳守される。

必ず事前の電話で予約が必要。予約時に、相談日時を調整する。電話予約受付時間 平日10時〜12時、13時〜15時。TEL 03(3264)5323

新司法試験と法政大学

法務研究科長 浜川 清

新司法試験と法政大学

2004年に発足した法科大学院の卒業生を対象とする新司法試験が5月に初めて実施され、9月21日、合格発表が行われた。合格者総数は1009人で、本学法科大学院からは23人が合格した。合格者数は、58法科大学院中では12位であった。各法科大学院の規模はさまさまであり、合格者数で上位の8校は定員が125人から300人の大規模校であり、本学と同じ100人定員の9法科大学院中では4位、私立の3法科大学院中では1位である。

法科大学院の理念

法科大学院と新司法試験の制度は、旧司法試験のさまざまな弊害の克服を目的としている。試験の合格だけを目標とすることなく、2年ないし3年間の教育を通じて、十分な法学の知識、創造性のある応用力を身につけた法曹を養成するものである。高度専門職大学院として発足した法科大学院では、少人数と双方向・多方向授業の方式で、法曹に必要な法律学等について高い密度の教育が行われている。

法政法科大学院について

本学法科大学院は長い歴史を持ち優れた研究業績を示す教授陣を擁していた法学部を基礎に設立された。裁判官、検事、弁護士の実務経験を持つ本学の専任教員は、司法研修所教官を務めるなど教育・研究面ですぐれた実績を持つ。司法試験に合格した卒業生が法曹として活躍している。何よりも、合格した卒業生が法曹として優れた能力を示すことで、法政法科大学院の力を世に示して、全国的に期待されている。

会計大学院と新公認会計士試験

イノベーション・マネジメント研究科 アカウンティング専攻主任 永野則雄

会計大学院を設置して2年目となった。応募者も今年度は増えており、専門職大学院として着実に認知されてきているといえる。

企業活動が複雑化・高度化するにつれて会計の技術も複雑化・高度化してきている。会計専門職に必要なのは、会計の技術的な知識に加えて理論的な判断力である。会計大学院は理論的な判断力の鍛錬を重視するが、専門職大学院としてケーススタディなどの実践的な科目も用意している。

免除され、企業法だけを受験することになっていく。論文式試験は、事前の予想に反して、計算問題がこれほど多いという分量で、しかも難しい問題が出題された。これは、科目合格制が導入されたことにより、計算問題での出来過ぎを心配した試験委員が過剰反応したとも考えられる。

こうした出題傾向は、理論を重視する会計大学院生には得意に思われるかもしれない。しかし、専門学校で学んだ者でもそれほどできていないはずである。専門学校の講師がよく言う「他の人も出来ないから捨ててもいい問題」である。合格者

の大半も計算問題で高得点を取るのは無理になるかもしれない。むしろ、基本的な問題を繰り返し練習して、部分点を確実に得点できるようにすべきであろう。

本大学院でも、計算問題は補習の形で対応することになっている。しかし、各人にも、電卓の練習も含めて、基本的な計算問題は確実に、早く解けるように練習して欲しい。

これまでの公認会計士試験等の受験生は、大学から受験勉強主体であった。これに対して会計大学院では、大学時代は自分の好きなことに熱中し、卒業後あるいは社会人を経験してから会計大学院

験委員についても本学法科大学院の教員から多数選ばれている。

教育内容では、中規模校として少人数教育を徹底するとともに、クリニック授業(臨床法曹教育)を重視している。そのために大学院施設内に弁護士事務所リエゾンを設置しているのも全国的に珍しい。クリニック授業を通して学生は法律学を学ぶ意義と社会的責任を自覚することができると期待されている。

来年は、全国74の法科大学院で初めて定員どおりの学生が卒業するなど大学院間の競争は激しくなる。法政大学法科大学院は、その教育理念と内容に自信をもちながら、いっそうの充実のため断続的努力を続けていく。

さらなる充実を

新司法試験でそれなりの成果を上げ、その後に行われた来年度の既修者や未修者の入学試験に定員の10倍を超える応募があるなど、その評価が定着しつつある。何よりも、合格した卒業生が法曹として優れた能力を示すことで、法政法科大学院の力を世に示して、全国的に期待されている。

実力を世に示して、全国的に期待されている。

来年は、全国74の法科大学院で初めて定員どおりの学生が卒業するなど大学院間の競争は激しくなる。法政大学法科大学院は、その教育理念と内容に自信をもちながら、いっそうの充実のため断続的努力を続けていく。

**二年制を導入する
イノベーション・マネジメント専攻**
イノベーション・マネジメント研究科
イノベーション・マネジメント専攻主任 岡本吉晴

イノベーション・マネジメント専攻は、「ビジネスやマネジメントのイノベーション」を育成することを基本目標としたビジネススクールで、2004年4月に開校した。

一年制のビジネススクールとして運営してきた。短期化したビジネスの革新サイクルに対応してキャリアアップをした人々のためには、一年制が最適である。一方、働きながらじっくりビジネスの基本と専門性を身につけたいというニーズも根強くあり、来年度から二年制も開設することに決めた。

修士論文に相当する「プロジェクト」という必修科目で、現実のビジネスの課題を解決するイノベーションのプランを作成してもらおう。「プロジェクト」のテーマをカテゴリーとして、履修モデルとしての「プログラム」を設定した。

主として、雇用の科目を配置したプログラムは、「アントレプレナー

養成」、「マーケティング戦略」、「ビジネスIT戦略」、「マネジメントプログラム(中小企業診断士養成)」の五つである。

主として、夜間と土曜日には、現実のビジネスシーンに機動的に対応する科目を配置した。日本版SOX法対応などのための「リスクマネジメント」と「IT内部統制」と、オーナーや後継経営者の育成のための「中小企業経営革新」の二つがある。

理工学部(仮称)および生命理工学部(仮称)の08年4月発足を目標として

設置準備委員長 白井五郎

2007年度、大学の志願者数が入学定員数を下回る。年を追ってこの差は拡大し、大学を取り巻く環境は年々厳しさを増す。各大学は生き残り戦略を推し進め、理工学部を中心に生命理工学部(仮称)の二つの学部に分割する予定である。

理工学部(仮称)は基礎となる専門知識を徹底して修得させ、未来を見据えることのできる創造性豊かな、幅広い教養を身につけた自立型人材の育成を目指している。

より複雑化した様々な課題を解決しなければならぬ21世紀の技術者、研究者には、一層の幅広い専門知識と教養が要求される。新しい学部では、これまでにない柔軟なカリキュラム体系とする予定である。

生命理工学部(仮称)は、21世紀には理工学部の主役の一つを担うバイオ、植物医学科および環境にやさしい応用化学系を創設し、理系学部の発展を目指す。

21世紀の社会には、人口増加、食糧問題、エネルギー資源の限界、地球環境の維持、エイジング等の難しい課題があり、持続的社会的発展のためには、理工系3学部の役割は、ますます重要になってきている。

『ウェルビーイング(Well-being)』をキーワードに3学部は、有機的な連携を保つことで豊かな社会の構築を目指している。

21世紀COEプログラム「日本発信の国際日本学の構築」の研究成果

21世紀COE拠点リーダー 国際日本学研究所所長 星野勉

2002年度に文部科学省によって採択された本学の21世紀COEプログラム「日本発信の国際日本学の構築」は、2004年度後半の中間評価、拠点リーダーの交代、研究実施計画の大幅な見直しを経て、最終年度を迎えている。

具体的な研究成果として、次の四点に絞り込んで報告する。

一、2005年12月、パリにおいて、フランス国立科学研究所、パリ日本文化センター、他方で従来の学問的枠組みを超えて、学問的対話を積み重ねるなかで、「国際日本学」という学問的に確立された日本研究、日本から見た「日本研究」を開発し、これら日本研究を内外的に分かつ溝を埋めることは可能か否か、国際日

本学は可能か否かを、国際日本学研究所と沖縄文化研究所との長年にわたる研究蓄積があるが、その根幹にかかわる問題は、研究会、ワークショップなどを通じて、能率研究や琉球・沖縄研究の国際化を図ってき、2006年12月の国際シンポジウム「国際日本学」ことばとことばを越えるもの」に引き継がれた。その成果は国際日本学研究所として刊行される。国の内外の日本文化研究者が、一方で国境や文化の障壁を超えて、他方で従来の学問的枠組みを超えて、学問的対話を積み重ねるなかで、「国際日本学」という学問的に確立された日本研究、日本から見た「日本研究」を開発し、これら日本研究を内外的に分かつ溝を埋めることは可能か否か、国際日

デザイン工学部を開設

デザイン工学部設置準備委員長 小林尚登 工学部教授

2007年4月、市ヶ谷キャンパスに本学12番目の学部となる「デザイン工学部」が開校される。本学部は、建築学、都市環境デザイン工学、システムデザイン学、3学科で構成され、現在の工学部のデザイン系3学科が分離独立して生まれる。

21世紀のモノづくりは、人間を中心に捉えるデザイン工学部の姿勢は、本学のキーワードである「ウェルビーイング」にもつながる。

このような広い意味でのデザイン教育を行うには、圧倒的に大都市が有利となる。現在、ニューヨークやパリ、ロンドン、ミラノといった大都市には、企業の

デザイン工学部では、工学と美学を融合した「美工学」の教育・研究を通じて、高度な工学知識に加えて、美的感性や人文・社会科学の知性も備えた次代の工学デザイナー、WORLDWIDE DESIGNER(多元的・一体化デザイナー)の育成を目指している。

人間を中心に捉えて、社会や環境に配慮した持続可能な技術を追及するデザイン工学部の姿勢こそWORLDWIDE DESIGNERの養成は、本学のキーワードである「ウェルビーイング」にもつながる。

建築デザイナー、インテリアデザイナー、ファッションデザイナー、グラフィックデザイナーなど、数多く第一線で活躍している人々と積極的に連携し、学生がトータルデザイナーの仕事に携わること、さらには文系と理系が融合した研究領域を構築していくことも考えたい。

等々積み重ねてきており、研究成果報告書や『東京アジア共生モデル』と異文化研究』と題された国際日本学研究所の長年にわたる研究蓄積があるが、その根幹にかかわる問題、研究会、ワークショップなどを通じて、能率研究や琉球・沖縄研究の国際化を図ってき、2006年12月の国際シンポジウム「国際日本学」ことばとことばを越えるもの」に引き継がれた。その成果は国際日本学研究所として刊行される。国の内外の日本文化研究者が、一方で国境や文化の障壁を超えて、他方で従来の学問的枠組みを超えて、学問的対話を積み重ねるなかで、「国際日本学」という学問的に確立された日本研究、日本から見た「日本研究」を開発し、これら日本研究を内外的に分かつ溝を埋めることは可能か否か、国際日

座談会

21世紀の「リーディング・ユニバーシティ」に向けた本学の改革

～キャリア教育、工学部再編にみる教育力の向上～



工学部システムデザイン学科教授、理工学部・生命理工学部設置準備委員

竹内 則雄氏



総長

平林 千牧氏



キャリアデザイン学部教授、元古河電気工業(株)常務

桐村 晋次氏

平林 社会的にも非常に驚かれたのですが、本学ではわずか5年間に新学部を5つも作り、注目されたのは、キャリアデザイン学部でしょう。結果や反響は、予想以上に大きいものでした。

桐村 キャリアデザイン学部は今年度の卒業生を送り出します。景気の好転もありますが、就職状況は大変成功したと思います。世の中がこういった学部を待ち望んでいたのでしょうか。

平林 本学が設置したところは大きな衝撃を与えました。最近では高等教育で常態になりつつあり

平林 最近の日本の社会的テーマを見回しても、やはり教育に関するテーマが一番大きな比重を占めているように見受けられます。

日本は、教育に重きを置いて、近代産業社会としては極めて成功した社会だったのではないかと思います。

その成功は、順調な人口増大を背景に良質な労働力を確保し工業化社会を担ってきたというプロセスです。しかし一昨年から、日本は人口減少社会に転じました。発展を担ってきた基礎が基本的に変ったわけですね。

そしてもう一つ、先進国社会が、いわゆるポストモダンという形で表象され、脱工業化に移行し始めた。今後は、かなり新しい挑戦をしなければなりません。

また、本紙1面の巻頭言で触れたように教育も

平林 最近の日本の社会的テーマを見回しても、やはり教育に関するテーマが一番大きな比重を占めているように見受けられます。

日本は、教育に重きを置いて、近代産業社会としては極めて成功した社会だったのではないかと思います。

その成功は、順調な人口増大を背景に良質な労働力を確保し工業化社会を担ってきたというプロセスです。しかし一昨年から、日本は人口減少社会に転じました。発展を担ってきた基礎が基本的に変ったわけですね。

そしてもう一つ、先進国社会が、いわゆるポストモダンという形で表象され、脱工業化に移行し始めた。今後は、かなり新しい挑戦をしなければなりません。

また、本紙1面の巻頭言で触れたように教育も

完成年度を迎えたキャリアデザイン学部の実績

平林 社会的にも非常に驚かれたのですが、本学ではわずか5年間に新学部を5つも作り、注目されたのは、キャリアデザイン学部でしょう。結果や反響は、予想以上に大きいものでした。

桐村 キャリアデザイン学部は今年度の卒業生を送り出します。景気の好転もありますが、就職状況は大変成功したと思います。世の中がこういった学部を待ち望んでいたのでしょうか。

平林 本学が設置したところは大きな衝撃を与えました。最近では高等教育で常態になりつつあり

完成年度を迎えたキャリアデザイン学部の実績

平林 社会的にも非常に驚かれたのですが、本学ではわずか5年間に新学部を5つも作り、注目されたのは、キャリアデザイン学部でしょう。結果や反響は、予想以上に大きいものでした。

桐村 キャリアデザイン学部は今年度の卒業生を送り出します。景気の好転もありますが、就職状況は大変成功したと思います。世の中がこういった学部を待ち望んでいたのでしょうか。

平林 本学が設置したところは大きな衝撃を与えました。最近では高等教育で常態になりつつあり

完成年度を迎えたキャリアデザイン学部の実績

平林 社会的にも非常に驚かれたのですが、本学ではわずか5年間に新学部を5つも作り、注目されたのは、キャリアデザイン学部でしょう。結果や反響は、予想以上に大きいものでした。

桐村 キャリアデザイン学部は今年度の卒業生を送り出します。景気の好転もありますが、就職状況は大変成功したと思います。世の中がこういった学部を待ち望んでいたのでしょうか。

平林 本学が設置したところは大きな衝撃を与えました。最近では高等教育で常態になりつつあり

デザイン工学部開設、そして工学部の再編へ

平林 本学では、文系学部の改革が先行しましたが、工学部の改革も進んでいます。特に2007年はデザイン工学部という新しいコンセプトの学部が開設されました。先んじてシステムデザイン学部を作りました。この試みも、問われていた「教育力」への本学のひとつの考え方で、竹内先生にはそこで、改革の中心的な役割を担っていただいております。次は新しいコンセプトの学部「生命理工学部」、さらに将来的には工学部

デザイン工学部開設、そして工学部の再編へ

平林 本学では、文系学部の改革が先行しましたが、工学部の改革も進んでいます。特に2007年はデザイン工学部という新しいコンセプトの学部が開設されました。先んじてシステムデザイン学部を作りました。この試みも、問われていた「教育力」への本学のひとつの考え方で、竹内先生にはそこで、改革の中心的な役割を担っていただいております。次は新しいコンセプトの学部「生命理工学部」、さらに将来的には工学部

デザイン工学部開設、そして工学部の再編へ

平林 本学では、文系学部の改革が先行しましたが、工学部の改革も進んでいます。特に2007年はデザイン工学部という新しいコンセプトの学部が開設されました。先んじてシステムデザイン学部を作りました。この試みも、問われていた「教育力」への本学のひとつの考え方で、竹内先生にはそこで、改革の中心的な役割を担っていただいております。次は新しいコンセプトの学部「生命理工学部」、さらに将来的には工学部

また、高卒者の約半数が大学に行き始めましたが、その講義は依然、教

また、高卒者の約半数が大学に行き始めましたが、その講義は依然、教

また、高卒者の約半数が大学に行き始めましたが、その講義は依然、教

官が課題を出し、課題には正解があるという教え方なのです。

しかし、社会では何が課題か分からないことはあります。文系・理系を問わず青年後期の発達課題として、生き方について、本当は七転八倒して考えなければいけない時期に、問題も解答も教えるシステムが整いすぎてしまっています。

平林 確かに皆がサラリーマンとなる環境では人生が非常に考えにくい。だからこそ教育が何かをしなければならぬので



基礎となる教養教育と専門教育

平林 従来、大学では基本的に教養教育で人間を探求しながら、同時に専門分野の知識を積み重ねてきました。その教養や専門の持つ意味も変わってきています。

この点で大学教育には、何が求められるので

桐村 栄養をよく摂り、適度な運動をするとか、できる。同じように、頭脳にも良い本や映画、絵画鑑賞などバランスのとれた栄養が必要です。

頭の適度な運動とは自分で調べ、友達と議論し、

平林 私がよく引用するアンケート調査に、かなりレベルの高い大学の

桐村 旧制高校では、学生たちが育った背景が今と違っていました。社会的使命感を持っていたので、それを念頭に置き教養教育を受けていました。

桐村 旧制高校では、学生たちが育った背景が今と違っていました。社会的使命感を持っていたので、それを念頭に置き教養教育を受けていました。

平林 理工系の二、三、四年生が、どこで活躍しているかという形で、社会的役割を担うための、重要なポイントについてご意見をいただきたいと思っています。

桐村 これまで学生は、ある年齢層を中心としたが、本学の好立地を考えると、社会人教育も挙げられるでしょう。

平林 大学の教育はあらゆる年代に限定された話で

平林 名古屋大学で長く研究された潮水守一様、美林大学教授は「大学というのは失業状態の一種の時間延長である」と強調されています。つまり大学で身に付けた知識の有効性の問題があります。

竹内 総長の言われるように、今後は工学部を強く主張されて、二、三、四年生が、どこで活躍しているかという形で、社会的役割を担うための、重要なポイントについてご意見をいただきたいと思っています。

平林 大学の学生数とフ・スタディ・バランスを行うのに法政大学というのは格好の場所だ、ということですが、もう一つが社会的な貢献です。その試みとして、文科省採択、平成18年度現代的教育二、三取組支援プログラム(現代大卒無業者ゼロをめざす取組)の詳細は本紙4面にあります。これは、児美川孝一郎助教授を中心として、キャリアデザイン学部一丸となって取り組んでいます。

平林 大学の学生数とフ・スタディ・バランスを行うのに法政大学というのは格好の場所だ、ということですが、もう一つが社会的な貢献です。その試みとして、文科省採択、平成18年度現代的教育二、三取組支援プログラム(現代大卒無業者ゼロをめざす取組)の詳細は本紙4面にあります。これは、児美川孝一郎助教授を中心として、キャリアデザイン学部一丸となって取り組んでいます。

平林 大学の学生数とフ・スタディ・バランスを行うのに法政大学というのは格好の場所だ、ということですが、もう一つが社会的な貢献です。その試みとして、文科省採択、平成18年度現代的教育二、三取組支援プログラム(現代大卒無業者ゼロをめざす取組)の詳細は本紙4面にあります。これは、児美川孝一郎助教授を中心として、キャリアデザイン学部一丸となって取り組んでいます。

平林 大学の学生数とフ・スタディ・バランスを行うのに法政大学というのは格好の場所だ、ということですが、もう一つが社会的な貢献です。その試みとして、文科省採択、平成18年度現代的教育二、三取組支援プログラム(現代大卒無業者ゼロをめざす取組)の詳細は本紙4面にあります。これは、児美川孝一郎助教授を中心として、キャリアデザイン学部一丸となって取り組んでいます。

平林 大学の学生数とフ・スタディ・バランスを行うのに法政大学というのは格好の場所だ、ということですが、もう一つが社会的な貢献です。その試みとして、文科省採択、平成18年度現代的教育二、三取組支援プログラム(現代大卒無業者ゼロをめざす取組)の詳細は本紙4面にあります。これは、児美川孝一郎助教授を中心として、キャリアデザイン学部一丸となって取り組んでいます。

平林 大学の学生数とフ・スタディ・バランスを行うのに法政大学というのは格好の場所だ、ということですが、もう一つが社会的な貢献です。その試みとして、文科省採択、平成18年度現代的教育二、三取組支援プログラム(現代大卒無業者ゼロをめざす取組)の詳細は本紙4面にあります。これは、児美川孝一郎助教授を中心として、キャリアデザイン学部一丸となって取り組んでいます。

平林 大学の学生数とフ・スタディ・バランスを行うのに法政大学というのは格好の場所だ、ということですが、もう一つが社会的な貢献です。その試みとして、文科省採択、平成18年度現代的教育二、三取組支援プログラム(現代大卒無業者ゼロをめざす取組)の詳細は本紙4面にあります。これは、児美川孝一郎助教授を中心として、キャリアデザイン学部一丸となって取り組んでいます。

平林 大学の学生数とフ・スタディ・バランスを行うのに法政大学というのは格好の場所だ、ということですが、もう一つが社会的な貢献です。その試みとして、文科省採択、平成18年度現代的教育二、三取組支援プログラム(現代大卒無業者ゼロをめざす取組)の詳細は本紙4面にあります。これは、児美川孝一郎助教授を中心として、キャリアデザイン学部一丸となって取り組んでいます。

平林 大学の学生数とフ・スタディ・バランスを行うのに法政大学というのは格好の場所だ、ということですが、もう一つが社会的な貢献です。その試みとして、文科省採択、平成18年度現代的教育二、三取組支援プログラム(現代大卒無業者ゼロをめざす取組)の詳細は本紙4面にあります。これは、児美川孝一郎助教授を中心として、キャリアデザイン学部一丸となって取り組んでいます。

平林 大学の学生数とフ・スタディ・バランスを行うのに法政大学というのは格好の場所だ、ということですが、もう一つが社会的な貢献です。その試みとして、文科省採択、平成18年度現代的教育二、三取組支援プログラム(現代大卒無業者ゼロをめざす取組)の詳細は本紙4面にあります。これは、児美川孝一郎助教授を中心として、キャリアデザイン学部一丸となって取り組んでいます。

平林 大学の学生数とフ・スタディ・バランスを行うのに法政大学というのは格好の場所だ、ということですが、もう一つが社会的な貢献です。その試みとして、文科省採択、平成18年度現代的教育二、三取組支援プログラム(現代大卒無業者ゼロをめざす取組)の詳細は本紙4面にあります。これは、児美川孝一郎助教授を中心として、キャリアデザイン学部一丸となって取り組んでいます。

平林 大学の学生数とフ・スタディ・バランスを行うのに法政大学というのは格好の場所だ、ということですが、もう一つが社会的な貢献です。その試みとして、文科省採択、平成18年度現代的教育二、三取組支援プログラム(現代大卒無業者ゼロをめざす取組)の詳細は本紙4面にあります。これは、児美川孝一郎助教授を中心として、キャリアデザイン学部一丸となって取り組んでいます。

平林 大学の学生数とフ・スタディ・バランスを行うのに法政大学というのは格好の場所だ、ということですが、もう一つが社会的な貢献です。その試みとして、文科省採択、平成18年度現代的教育二、三取組支援プログラム(現代大卒無業者ゼロをめざす取組)の詳細は本紙4面にあります。これは、児美川孝一郎助教授を中心として、キャリアデザイン学部一丸となって取り組んでいます。

平林 大学の学生数とフ・スタディ・バランスを行うのに法政大学というのは格好の場所だ、ということですが、もう一つが社会的な貢献です。その試みとして、文科省採択、平成18年度現代的教育二、三取組支援プログラム(現代大卒無業者ゼロをめざす取組)の詳細は本紙4面にあります。これは、児美川孝一郎助教授を中心として、キャリアデザイン学部一丸となって取り組んでいます。

平林 大学の学生数とフ・スタディ・バランスを行うのに法政大学というのは格好の場所だ、ということですが、もう一つが社会的な貢献です。その試みとして、文科省採択、平成18年度現代的教育二、三取組支援プログラム(現代大卒無業者ゼロをめざす取組)の詳細は本紙4面にあります。これは、児美川孝一郎助教授を中心として、キャリアデザイン学部一丸となって取り組んでいます。

平林 大学の学生数とフ・スタディ・バランスを行うのに法政大学というのは格好の場所だ、ということですが、もう一つが社会的な貢献です。その試みとして、文科省採択、平成18年度現代的教育二、三取組支援プログラム(現代大卒無業者ゼロをめざす取組)の詳細は本紙4面にあります。これは、児美川孝一郎助教授を中心として、キャリアデザイン学部一丸となって取り組んでいます。

平林 大学の学生数とフ・スタディ・バランスを行うのに法政大学というのは格好の場所だ、ということですが、もう一つが社会的な貢献です。その試みとして、文科省採択、平成18年度現代的教育二、三取組支援プログラム(現代大卒無業者ゼロをめざす取組)の詳細は本紙4面にあります。これは、児美川孝一郎助教授を中心として、キャリアデザイン学部一丸となって取り組んでいます。

平林 大学の学生数とフ・スタディ・バランスを行うのに法政大学というのは格好の場所だ、ということですが、もう一つが社会的な貢献です。その試みとして、文科省採択、平成18年度現代的教育二、三取組支援プログラム(現代大卒無業者ゼロをめざす取組)の詳細は本紙4面にあります。これは、児美川孝一郎助教授を中心として、キャリアデザイン学部一丸となって取り組んでいます。

平林 大学の学生数とフ・スタディ・バランスを行うのに法政大学というのは格好の場所だ、ということですが、もう一つが社会的な貢献です。その試みとして、文科省採択、平成18年度現代的教育二、三取組支援プログラム(現代大卒無業者ゼロをめざす取組)の詳細は本紙4面にあります。これは、児美川孝一郎助教授を中心として、キャリアデザイン学部一丸となって取り組んでいます。

平林 大学の学生数とフ・スタディ・バランスを行うのに法政大学というのは格好の場所だ、ということですが、もう一つが社会的な貢献です。その試みとして、文科省採択、平成18年度現代的教育二、三取組支援プログラム(現代大卒無業者ゼロをめざす取組)の詳細は本紙4面にあります。これは、児美川孝一郎助教授を中心として、キャリアデザイン学部一丸となって取り組んでいます。

平林 大学の学生数とフ・スタディ・バランスを行うのに法政大学というのは格好の場所だ、ということですが、もう一つが社会的な貢献です。その試みとして、文科省採択、平成18年度現代的教育二、三取組支援プログラム(現代大卒無業者ゼロをめざす取組)の詳細は本紙4面にあります。これは、児美川孝一郎助教授を中心として、キャリアデザイン学部一丸となって取り組んでいます。

平林 大学の学生数とフ・スタディ・バランスを行うのに法政大学というのは格好の場所だ、ということですが、もう一つが社会的な貢献です。その試みとして、文科省採択、平成18年度現代的教育二、三取組支援プログラム(現代大卒無業者ゼロをめざす取組)の詳細は本紙4面にあります。これは、児美川孝一郎助教授を中心として、キャリアデザイン学部一丸となって取り組んでいます。

平林 大学の学生数とフ・スタディ・バランスを行うのに法政大学というのは格好の場所だ、ということですが、もう一つが社会的な貢献です。その試みとして、文科省採択、平成18年度現代的教育二、三取組支援プログラム(現代大卒無業者ゼロをめざす取組)の詳細は本紙4面にあります。これは、児美川孝一郎助教授を中心として、キャリアデザイン学部一丸となって取り組んでいます。

平林 大学の学生数とフ・スタディ・バランスを行うのに法政大学というのは格好の場所だ、ということですが、もう一つが社会的な貢献です。その試みとして、文科省採択、平成18年度現代的教育二、三取組支援プログラム(現代大卒無業者ゼロをめざす取組)の詳細は本紙4面にあります。これは、児美川孝一郎助教授を中心として、キャリアデザイン学部一丸となって取り組んでいます。

平林 大学の学生数とフ・スタディ・バランスを行うのに法政大学というのは格好の場所だ、ということですが、もう一つが社会的な貢献です。その試みとして、文科省採択、平成18年度現代的教育二、三取組支援プログラム(現代大卒無業者ゼロをめざす取組)の詳細は本紙4面にあります。これは、児美川孝一郎助教授を中心として、キャリアデザイン学部一丸となって取り組んでいます。

平林 大学の学生数とフ・スタディ・バランスを行うのに法政大学というのは格好の場所だ、ということですが、もう一つが社会的な貢献です。その試みとして、文科省採択、平成18年度現代的教育二、三取組支援プログラム(現代大卒無業者ゼロをめざす取組)の詳細は本紙4面にあります。これは、児美川孝一郎助教授を中心として、キャリアデザイン学部一丸となって取り組んでいます。

平林 大学の学生数とフ・スタディ・バランスを行うのに法政大学というのは格好の場所だ、ということですが、もう一つが社会的な貢献です。その試みとして、文科省採択、平成18年度現代的教育二、三取組支援プログラム(現代大卒無業者ゼロをめざす取組)の詳細は本紙4面にあります。これは、児美川孝一郎助教授を中心として、キャリアデザイン学部一丸となって取り組んでいます。

平林 大学の学生数とフ・スタディ・バランスを行うのに法政大学というのは格好の場所だ、ということですが、もう一つが社会的な貢献です。その試みとして、文科省採択、平成18年度現代的教育二、三取組支援プログラム(現代大卒無業者ゼロをめざす取組)の詳細は本紙4面にあります。これは、児美川孝一郎助教授を中心として、キャリアデザイン学部一丸となって取り組んでいます。

平林 大学の学生数とフ・スタディ・バランスを行うのに法政大学というのは格好の場所だ、ということですが、もう一つが社会的な貢献です。その試みとして、文科省採択、平成18年度現代的教育二、三取組支援プログラム(現代大卒無業者ゼロをめざす取組)の詳細は本紙4面にあります。これは、児美川孝一郎助教授を中心として、キャリアデザイン学部一丸となって取り組んでいます。

問題発見解決型の能力を身につけさせる教育

私学における教育力と、社会的な役割、現代GPPへの取り組み

本学の理工系教育の今後の進め方

はありません。今後の日本社会を展望し、教育力を高めれば、いわゆるリベラルな能力再開発のサポート体制をとっていただけるわけですね。特に、本学の独自性は、それを取り込めるはずですよ。

私は本学の学生は本当に優秀だと思っています。優秀な学生の能力をきちんと伸ばして社会に出せなかつたとする、それは大きな大学の責任問題です。保護者の皆さまにもそう、話しています。

先生方が怠けているように見えたなら遠慮なく批判していただきたい。

やはりきちんとした批判を受けつつ、大学づくりをしていくことが、私どもには非常に重要だと思います。大学が社会に顔を向けているということであると、思っています。

両先生のご指摘を生かしながら、法政大学の今後の発展を担っていきたいと思います。どうもありがとうございます。



OB訪問

「絶対」がないからこそ、販売にはやりがいがある

「3割4割引は当たり前」というキャッチフレーズを、大都市主要ターミナル駅近接の大型店舗でおなじみの株式会社ビックカメラ。2005年11月から社長を務めているのが、宮嶋宏幸氏(文学部英文学科84年卒)である。今でこそ全国に24店舗を展開、売上高約4800億、社員約4500人(ともに連結)の大企業だが、入社当時は、池袋駅そばに2店舗を構えるのみだったという。

「新卒採用の一期生で迷いましたが、菓子問屋を経営していたことある父親は、理解があり『男はチャレンジしろ』と背中を押してくれました。『必ず伸びる企業だ』と薦められてはいたので、この20年で売上高が25倍になるとは思いませんでした」

大学時代に、家庭教師や工務店、参議院議員秘書、就職情報誌の営業など、さまざまなアルバイトを経験した宮嶋氏。その後、実家近くの大手スーパー家電売場の接客で、周囲が驚くほどの売り上げをあげたことが販売業に進むきっかけになった。

「販売業が性に合っていたのでしょね。今でも売れ場が気になって、暇さえあれば、よこのぞきにいけます。根っからの家電好きなので、新商品などに触れて、商品知識を深めています」

渋谷東口店や池袋本店などの店長も歴任しているが、店舗開発や企画にも深く携わった。好立地の駅前大型店舗を設けるビックカメラの戦略は、時代に受け入れられた。宮嶋氏の社歴は、同社の拡大路線とともに歩んできたものだ。

「お客さまに『より豊かな生活を提案する』ために、品揃えやサービスを充実しながら事業分野を拡大し、店舗を出店、気配り、今の規模に

「お客さまに『より豊かな生活を提案する』ために、品揃えやサービスを充実しながら事業分野を拡大し、店舗を出店、気配り、今の規模に

「お客さまに『より豊かな生活を提案する』ために、品揃えやサービスを充実しながら事業分野を拡大し、店舗を出店、気配り、今の規模に



株式会社ビックカメラ代表取締役社長
宮嶋宏幸
(みやじま・ひろゆき) 1959年、長野県生まれ。1984年3月、法政大学文学部英文学科卒業。株式会社ビックカメラ(本社・豊島区池袋、1980年創業)に新卒一期生として1984年4月入社。1993年2月、渋谷東口店店長。1996年4月、取締役兼池袋本店店長。1998年5月、取締役営業部長兼池袋本店店長。2000年3月、取締役人事部長。2000年11月、取締役営業部長。2002年6月、取締役営業本部長。2004年11月、専務取締役兼商品本部長。2005年3月、代表取締役専務兼商品本部長。2005年11月、代表取締役社長に就任。

た。さらに、同年8月の藤沢店、9月のラゾーナ川崎店の新店舗オープンや、07年の京都店、岡山店など、大型出店は続く。店舗という器のみならず、藤沢、ラゾーナ川崎店における、『キッチンスタジオ』という従来の「実演型家電展示」の異なる実演型家電展示の授業が多く、ゼミの記憶もありませんが、あらためて大学との強いつながりを感じました」



当時の英文学科は大教室の授業が多く、ゼミの記憶もありませんが、あらためて大学との強いつながりを感じました」

社長就任後は経済界で活躍する法政出身者の集まり「法政財界人倶楽部」などで、校友と交流する機会も増え、楽しみにしている。時には、懐かしい市谷キャンパス付近を散策することもある。

プライベートでは、サッカー観戦が趣味。住まいのある横浜のホームチーム、横浜F・マリノスや日本代表戦などによく足を運ぶ。時々、ユニフォームを着込む熱心なサポーターでもある。

「妻と中学3年の息子とスタジオで応援しています。シドニー五輪の際は現地まで行ってしまいました(笑)」

社長就任時に、総務から贈られた祝電を大切にしているのだという。06年8月には念願だったジャズダンス証券取引所への上場を果たした。

「簡素・効率・変化・対応」が宮嶋氏の信条。独学で得るしかない商品知識、売り場のわずかの時間でお客さまからの信頼を得る接客技術はマニュアルでは語れない。この「絶対」がないからこそ販売にはやりがいがある。と若手社員に話すことも多いという。

競争が激しい業界。経営者として、新局面に立ち向かっていく。

「就職満足度80%超に！」

就職状況とキャリアセンターの取り組み

キャリアセンターで今年度初めて就職満足度調査を実施、「大いに満足」41.1%、「やや満足」40.8%、「やや不満」2.7%、「大いに不満」1.5%、「どちらでもない」13.8%という結果になった。

また10月現在、民間企業への就職希望者に対する内定保有率は89%で、前年同月比5.4%増と大幅増だった。公務員・教員希望などの採否結果が遅めの学生を含めた内定保有率は78.6%で、こちらも前年同月比5.4%増と伸びている。

内定保有状況は、前年10月よりも男女とも向上している。

民間企業への内定保有率は、経営学部候補として採用される国家公務員1種(キャリア)82.3%、国際文化

採用)合格者は増加している。今年度10人(昨年度8名)の最終合格者が出て、そのうち2人(昨年度1名)が採用内定となった。本採用が1人、本庁採用が1人となっている。

また、国家1種もここ4年で年平均1200人づつ合格者が減少しているが、今年度本学では81人が合格している。

政府は、2005年12月に閣議決定した「行政改革の重要方針」で、行政機関の国家公務員約33万2千人を5年間で5%以上削減させる目標を決めたために、年々志願者採用者ともに減少傾向にある。

この厳しい状況の中であるが、本学では幹部候補として採用される国家公務員1種(キャリア)採用者とともに減少傾向にある。

この厳しい状況の中であるが、本学では幹部候補として採用される国家公務員1種(キャリア)採用者とともに減少傾向にある。

この厳しい状況の中であるが、本学では幹部候補として採用される国家公務員1種(キャリア)採用者とともに減少傾向にある。

この厳しい状況の中であるが、本学では幹部候補として採用される国家公務員1種(キャリア)採用者とともに減少傾向にある。

この厳しい状況の中であるが、本学では幹部候補として採用される国家公務員1種(キャリア)採用者とともに減少傾向にある。

この厳しい状況の中であるが、本学では幹部候補として採用される国家公務員1種(キャリア)採用者とともに減少傾向にある。

この厳しい状況の中であるが、本学では幹部候補として採用される国家公務員1種(キャリア)採用者とともに減少傾向にある。

キャリアセンターの一年

採用)合格者は増加している。今年度10人(昨年度8名)の最終合格者が出て、そのうち2人(昨年度1名)が採用内定となった。本採用が1人、本庁採用が1人となっている。

また、国家1種もここ4年で年平均1200人づつ合格者が減少しているが、今年度本学では81人が合格している。

政府は、2005年12月に閣議決定した「行政改革の重要方針」で、行政機関の国家公務員約33万2千人を5年間で5%以上削減させる目標を決めたために、年々志願者採用者ともに減少傾向にある。

この厳しい状況の中であるが、本学では幹部候補として採用される国家公務員1種(キャリア)採用者とともに減少傾向にある。

採用)合格者は増加している。今年度10人(昨年度8名)の最終合格者が出て、そのうち2人(昨年度1名)が採用内定となった。本採用が1人、本庁採用が1人となっている。

また、国家1種もここ4年で年平均1200人づつ合格者が減少しているが、今年度本学では81人が合格している。

政府は、2005年12月に閣議決定した「行政改革の重要方針」で、行政機関の国家公務員約33万2千人を5年間で5%以上削減させる目標を決めたために、年々志願者採用者ともに減少傾向にある。

この厳しい状況の中であるが、本学では幹部候補として採用される国家公務員1種(キャリア)採用者とともに減少傾向にある。

採用)合格者は増加している。今年度10人(昨年度8名)の最終合格者が出て、そのうち2人(昨年度1名)が採用内定となった。本採用が1人、本庁採用が1人となっている。

また、国家1種もここ4年で年平均1200人づつ合格者が減少しているが、今年度本学では81人が合格している。

政府は、2005年12月に閣議決定した「行政改革の重要方針」で、行政機関の国家公務員約33万2千人を5年間で5%以上削減させる目標を決めたために、年々志願者採用者ともに減少傾向にある。

この厳しい状況の中であるが、本学では幹部候補として採用される国家公務員1種(キャリア)採用者とともに減少傾向にある。

採用)合格者は増加している。今年度10人(昨年度8名)の最終合格者が出て、そのうち2人(昨年度1名)が採用内定となった。本採用が1人、本庁採用が1人となっている。

また、国家1種もここ4年で年平均1200人づつ合格者が減少しているが、今年度本学では81人が合格している。

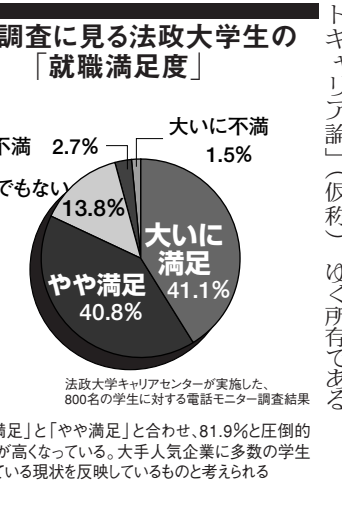
政府は、2005年12月に閣議決定した「行政改革の重要方針」で、行政機関の国家公務員約33万2千人を5年間で5%以上削減させる目標を決めたために、年々志願者採用者ともに減少傾向にある。

この厳しい状況の中であるが、本学では幹部候補として採用される国家公務員1種(キャリア)採用者とともに減少傾向にある。

め、過去5年間の結果報告書、内定した先輩のエントリーシートの開示、動画配信による就職支援などのコンテンツを作成し、24時間好きな時に学生が情報を入力できるシステムを構築する。

さらなる機能アップをキャリアセンターは、教育プログラムの開発にも積極的に支援してゆくと決めている。

07年度から「アスリートキャリア論」(仮称)を新設した。このように、キャリアセンターの機能をアップさせ、本学学生の多種多様なニーズに即応できるように心がけてゆく所存である。



「大いに満足」と「やや満足」と合わせ、81.9%と圧倒的に満足度が高くなっている。大手人気企業に多数の学生が内定している現状を反映しているものと考えられる

「大いに満足」と「やや満足」と合わせ、81.9%と圧倒的に満足度が高くなっている。大手人気企業に多数の学生が内定している現状を反映しているものと考えられる

「大いに満足」と「やや満足」と合わせ、81.9%と圧倒的に満足度が高くなっている。大手人気企業に多数の学生が内定している現状を反映しているものと考えられる

「大いに満足」と「やや満足」と合わせ、81.9%と圧倒的に満足度が高くなっている。大手人気企業に多数の学生が内定している現状を反映しているものと考えられる

「大いに満足」と「やや満足」と合わせ、81.9%と圧倒的に満足度が高くなっている。大手人気企業に多数の学生が内定している現状を反映しているものと考えられる

「大いに満足」と「やや満足」と合わせ、81.9%と圧倒的に満足度が高くなっている。大手人気企業に多数の学生が内定している現状を反映しているものと考えられる

エクステンション・カレッジの展開

エクステンション・カレッジでは、今年度も実施面で連携を深め、有益な情報をお伝えしていきます。

また、法政中高で講座を開講する予定もあり、地域の中高生、中高生のお父さん、お母さん、お兄さん、お姉さん、お友達、お仲間、お知り合い、お世話になっている方、お誘い合わせの程、ぜひご参加ください。

2007年度からは事務室を移転し、富士見坂校舎と外濠校舎を併用して講座を開講する予定です。より通いやすい環境となり、課外講座実施組織の多くが同一地域内に集まることから、より多くの方に大学から発信する情報を知っていただくことができます。

登録ください(無料)
専用ウェブサイトにご登録ください
<https://www.hosei.or.jp/>

一中高

移転と改革が軌道に!

2007年4月の移転に向けた校舎建設が順調に進み、新たな教育プログラムに対する理解も深まってきている。

学校のバリエーションに向けた新キャンパスの住民組織との協議もこれまで円満かつ建設的に進捗している。新しい校名

の「法政大学中等高等学校」が地域社会を構成する一員としての期待を自覚し、調和を図りながら地域に寄与できる存在になるようにしていきたい。

とりわけ、『誠実』『礼儀』『学ぶ喜び』の基本的なコンセプトは、今日の教育に求められている課題だけにその推進に注目が寄せられている。

また、学年にこだわらない教育システム(2・1・1システム)は、中・高一貫教育を具現化

一中高

教職員一丸となったカリキュラム改革で注目度急上昇

法政二高では10月14日に、2007年度入試説明会が行われ、1300人を超える受験生や保護者(昨年度比1.5倍)が詰めかけた。本月総合会館(体育館)にびっしりと並べられた椅子に座りきれず、立ち見がでるほどの盛況であった。

当日は、柔道部の実演、吹奏楽部の演奏などが行

われ、英語を中心とした基礎学力の大幅アップを図ること。第二は、三年次に大学入試センター試験クラスを新設するなど、多様な進路希望に対応すること。そして、第三は大学付属校としての特色をいっそう打ち出し、21世紀的課題に取り組む視野を育てる教育を充実させることである。

法政二中高では、改革を進める学校法人法政大学の一翼を担う付属校として、これまで、校長を先頭に全教員で改革に向けた熱い議論を積み重ねてきた。その成果が今花開こうとしている。

女子高

新一年生から新カリキュラムのスタート!

2007年は、法政女子高にとって画期的な方向を切り開く年となる。昨年7月、女子高の将来計画を練り直し、カリキュラムも新しく改訂した。付属校ならではの特色を大切にしつつ、グローバル社会に通用する

幅広い学力の育成を目指す。その実施がこの4月の新入生からである。

野上彌生子名誉校長の「女性である前にまづ人間であれ」の言葉に象徴される本校教育の理念と、現代社会に求められる高度な学力を伸ばすための改革である。これまで培ってきた、問題意識を持って自主的に学ぶ「付属校ならではの学力」を伸ばしつつ、基礎力をアップし、多様な進路にチャレンジ可能な学力を

入学選考方法を大きく変更

通信教育部

大学基準協会が「大学通信教育基準」を制定したことに伴い、本学の通信教育部も種々の改革を迫られている。これについて「法政大学報」第28号でもお伝えしたとおりである。2006年度後期生募集から入学選考方法を大きく変更したこともその改革の一つである。具体的には、書類選考と必要に応じて面接を課すという基本的な選考スタイルは同じであるが、新たに「志望理由書」を応募に際しての提出書類に加え、実質的な選考を行うこととなった。また、選考に十分な時間を確保し、入学者の勉学開始時期を早めるために、入学願書受付期間も短縮

した。これは、大学通信教育基準の「学生の受け入れにあたって大学は、入学希望者が学上課程」の「教育を受けるに足る基礎学力を有しているか否かを適切に確認すること」とや「入学希望者の意欲・適性等を多面的に評価すること」という要求に沿った選考方法としたものである。その結果、志願者は例年に比較すると減少したが、通信教育部の教育の質向上という面では大きな意義をもっている。その他、通信教育部の抜本的な改革を検討するためのプロジェクトが種々の議論を行っていき、報告していき

キャンパス完成間近

法政大学中等高等学校

2007年4月、法政大学第一中・高等学校は三鷹市牟礼地区(井の頭公園の南側)への移転を機に、「法政大学中等高等学校」に生まれ変わる。本学付属校で初の男女共学校となる。

同校は井の頭公園や玉川上流に隣接した閑静で落ち着いた雰囲気という立地であり、健全な学園(安心できる生活指導、安全な学校生活)を合言葉に、環境に恵まれた新校地と新しい施設・設備の中で、質の高い教育を



ニュースラッシュ

海外投資情報財団と相互協定締結

本学は、6月28日、(財)海外投資情報財団(JOIR)と、経済ビジネス分野に関する相互協定を締結した。

「開かれた法政21」のビジョンにふさわしい産官連携の新たなモデルケースとして、相互協力を推進していく。また、双方のグローバルな理論展開と調査研究成果を活用した大規模な国際シンポジウムやセミナーを定期的に共催する。

8月30日、本学は長野県原村と事業協力に関する協定を締結した。清水澄村長と平林総長が同日、原村で調印式を行った。

今後は、「原村の地域づくり・地域振興」や「法政大学の教育研究の向上」などに関して相互に連携・協力していく。地域研究センターが窓口となり、まずは、「地域ブランドの確立とサステイナブルで質の高い生活を実現する地域づくり事業」を支援するため経済学部・永井進ゼミの学生が、原村の輝く宝石発掘・探検隊」を組織し、村内の観光資源や魅力を精力的に調査。続いて第

2陣として社会学部・岡本義行ゼミが調査活動を行った。

■まちづくり公開セミナー開催
地域研究センターと日本商工会議所が共催した、まちづくり公開セミナー「改正まちづくり三法への期待と都市経営の課題」が7月27日、ポアンナード・タワー26階講堂で開催された。講演に際しては、神戸女学院大学とピサ大学サンタナ大学院のマッシモ・ベルガマスコ教授を講演者に迎え、講演会では、「かく戦えり 超広帯域アンテナの開発」という演題で中野教授が講演した。

■第10回日本構造デザイン賞授賞式
10月13日、第10回日本構造デザイン賞授賞式が、ポアンナード・タワー26階スカイホールで行われた。ドイツのシュツットガルト大学名誉教授のヨルク・シュライヒ氏に對して、青木繁名誉教授から、賞が授与された。

記念講演会では、シュライヒ教授が「軽量構造物のコンクリート・デザイン」との題で、また、体育館、多摩総合体育館、小金井体育館、川崎体育館、石岡総合体育施設にAEDを設置した。

AEDとは、突然の心停止(心臓突然死)から命を救うための装置。けいれんを起こした心臓に電気ショックを与え、正常な状態に戻す。操作は音声ガイダンスにより指示され、電気ショックが必要かどうかAEDが判断するなど、誰でも安心して簡単に操作することができる。

■デザイン工学部新設記念講演会
デザイン工学部新設記念講演会「ITと芸術」が、7月14日、ポアンナード・タワー26階スカイホールで、イタリヤ・ピサ大学サンタナ大学院のマッシモ・ベルガマスコ教授を講演者に迎え、講演に際しては、神戸女学院大学とピサ大学サンタナ大学院のマッシモ・ベルガマスコ教授を講演者に迎え、講演会では、「かく戦えり 超広帯域アンテナの開発」という演題で中野教授が講演した。

野教授の電気磁気学教育における顕著な貢献、特に、広帯域アンテナのたのめ数値解析法の開発とその教育活動に対して贈られたもので、日本人としては初の受賞である。講演会では、「かく戦えり 超広帯域アンテナの開発」という演題で中野教授が講演した。

大会に進出し、10月4日にピサ大学サンタナ大学院のマッシモ・ベルガマスコ教授を講演者に迎え、講演会では、「かく戦えり 超広帯域アンテナの開発」という演題で中野教授が講演した。

大会に進出し、10月4日にピサ大学サンタナ大学院のマッシモ・ベルガマスコ教授を講演者に迎え、講演会では、「かく戦えり 超広帯域アンテナの開発」という演題で中野教授が講演した。

人の名を冠し、優れた研究成果と教育的貢献を修めた研究・教育者に対して贈られている賞。中野教授の電気磁気学教育大会に進出し、10月4日にピサ大学サンタナ大学院のマッシモ・ベルガマスコ教授を講演者に迎え、講演会では、「かく戦えり 超広帯域アンテナの開発」という演題で中野教授が講演した。

野教授の電気磁気学教育大会に進出し、10月4日にピサ大学サンタナ大学院のマッシモ・ベルガマスコ教授を講演者に迎え、講演会では、「かく戦えり 超広帯域アンテナの開発」という演題で中野教授が講演した。

大会に進出し、10月4日にピサ大学サンタナ大学院のマッシモ・ベルガマスコ教授を講演者に迎え、講演会では、「かく戦えり 超広帯域アンテナの開発」という演題で中野教授が講演した。

「法政通り」誕生
町田市では、町田街道入口から法政大橋までのバス通りを「法政通り」と名称を付けて、看板を2箇所に設置した。

これは、町田市が進めている幹線市道に名前を付ける「サイン・表示整備事業」によるもの。2005年度に市民に名称を募集した。

■アドミッションズ・センターを設置
2006年6月、市ヶ谷キャンパスのポアンナード・タワー1階に受験生向けの「アドミッションズ・センター」がオープンした。

ここでは、個別相談を受け付けるほか、各学部のパンフレットやシラバス・入試過去問題の閲覧、大学紹介ビデオの視聴などさまざまな情報を入手できる。

平日は9時から17時まで、土日、祝日は10時から17時まで自由に利用可能(大学の休学期間は除く)の限りでない。

【お問い合わせ】
TEL 03(3264)9300

■町田市と相互協力包括協定を締結
本学を含む14の大学と町田市は11月6日、相互協力を進める包括協定を調印した。これまで各大学が分野別かつ個別に協定を結んでいたが、さらに総合的な連携を図った地域活性化に向けた調査受託や、大学施設の地域住民への開放のほか、研究活動に必要な行政情報の提供なども受ける。

■学生起業家選手中権優秀賞
東京都などが主催する平成18年度(第5回)学生起業家選手中権優秀賞(大学の休学期間は除く)の限りでない。

【お問い合わせ】
TEL 03(3264)9300

は、新しい発想や感性に優れた起業家をめざす学生の育成を目的として実施している事業。応募84組中10組が決勝大会に進出し、10月4日にピサ大学サンタナ大学院のマッシモ・ベルガマスコ教授を講演者に迎え、講演会では、「かく戦えり 超広帯域アンテナの開発」という演題で中野教授が講演した。

野教授の電気磁気学教育大会に進出し、10月4日にピサ大学サンタナ大学院のマッシモ・ベルガマスコ教授を講演者に迎え、講演会では、「かく戦えり 超広帯域アンテナの開発」という演題で中野教授が講演した。

大会に進出し、10月4日にピサ大学サンタナ大学院のマッシモ・ベルガマスコ教授を講演者に迎え、講演会では、「かく戦えり 超広帯域アンテナの開発」という演題で中野教授が講演した。



「リーディング・ユニバーシティ法政」

募金にご協力ください

法政大学が私立大学のトップとしての地位を築き上げるために、長期的視野に立って、新たに「リーディング・ユニバーシティ法政」を2006年1月からスタートしています。皆さまの貴重な寄付を次のようなプロジェクトに使用させていただきます。協力を願います。

募金の対象事業として、I. 教育とキャリア・クリエーション、II. 専門職大学院の拡充、III. 先端的な研究、IV. スポーツ振興、V. 付属中高と大学の一貫教育、VI. 冠奨学金の6項目として、(詳しくは、趣意書をご参照ください)。

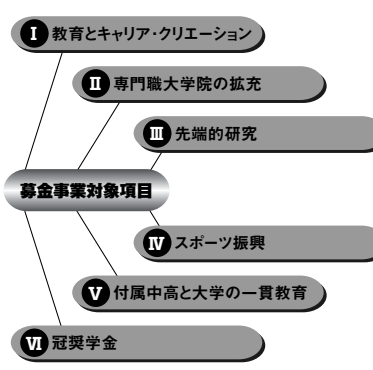
募金目標額は5年間で25億円とされていますが、期間は限定せず、永続的に募金活動を行っていただきます。また、オレシジ CAM PUS カードによる毎年1万円を納付していただく制度も設けていますので、ご活用ください。寄付していただいた方が個人の場合は、特定公益法人への寄付として所得税上の控除措置があります。2006年度税制改正に伴い、「所得税法等」の一部を改正する等の法律が公布され、所得控除に係る寄付金控除について、適用下限額が5千円に引き下げられ、還付額が増加することになりました。また、法人

遺贈による寄付制度について

近年、慣習にとらわれない自由な(法定相続人以外への)相続を求める傾向が強まっております。自身の遺産を社会貢献の観点から「社会・公益」のために役立てるケースも出てきております。遺贈とは遺言で財産を贈与すること、積極的に自分の志や願望を表現するなど、皆さまの思いを具体的な「かたち」にする有効な手段です。本学といたしましては、教育研究活動の充実を図るため、遺言により社会貢献をした方々のお考えの方々の篤志を広く受け入れるために「遺贈による寄付制度」を設けており、信託銀行4行(三菱UFJ信

団体
③ 募金委員会委員長(総長)が認めた団体
二. 算定期間
2006年1月1日〜2007年3月31日まで
以降は各年度初日〜最終日までの1年間。
三. 支援金の支給
支援金は、1団体につき、当該団体から納付された寄付金額が500万円以下の場合には10%相当額を、500万円を超える場合には、その超える部分について15%相当額を支給します。

① 校友連合会の本部および支部
② 学校法人法政大学の発展・充実のため、または卒業生の相互親睦のために組織され、継続的な活動を行っているものと思います。
ぜひとも卒業生の皆さまのご協力の下、21世紀のリーダーたる法政大学を築き上げたく、皆さまのご厚意あふれるご寄付をお願いいたします。
なお、既に本募金にご協力いただきました皆さまには心より感謝申し上げますとともに変わらぬご支援をお願いいたします。



法政オレシジ CAM PUS カード、本格始動中!

2006年4月から発行がはじまった「法政オレシジ CAM PUS カード」は、本学が大手カード会社と提携して発行する法政大学の卒業生・在学生・父母・教職員など関係者専用のクレジットカードです。JCBカード、DCCカード、UCカード、三井住友カードの4カードが、徐々に在学生、校友の間に浸透していきま

■ 奨学金の充実がカード発行の目的
このカードを皆さまにお持ちいただきたい理由

図書館利用のすすめ

法政大学図書館は、市ヶ谷、多摩、小金井の各キャンパスにあり、和洋の各種資料を含めて約160万冊の蔵書がある。所蔵している資料の中には、三木清、正岡子規、和辻哲郎など貴重なものも多数あり、学術的に内外から高く評価されている。これらの資料すべてを利用することはできないが、卒業生(大学・大学院、付属中・高校)は、どなたでも市ヶ谷図書館(昨年後期から富士見坂図書館も開室)、多摩図書館、小金井図書館を利用することができ、ちなみに2005年度は約1300人が登録し、利用された。

利用にあたっては、簡単な登録をするだけであり、最寄りの図書館の

お申し込み方法

同封の資料請求フォームをご返送ください。
なお、校友連合会カードをお持ちの方で法政オレシジ CAM PUS カードに切り替えを希望の方は、本紙と同封されている「校友連合会報」をご覧ください。

■ お得なカード
カード会社提供のサービスに加えて、本学独自のサービスが受けられます。

① ITサービス「法政オレシジネット」を無制限に利用
② 法政大学ロースクールによる無料法律相談
③ 校友の弁護士・公認会計士の無料紹介
④ エクステンション・カレッジの講座を特別料金で受講
⑤ 全国の協力店での優待サービス
⑥ 法政スポーツで招待チケットプレゼント(抽選)

卒業生にかかわる個人情報の利用目的

本学は、教育機関として、多くの個人情報を取り扱っており、個人情報保護法(2005年4月全面施行)以前から、その重要性にかんがみ、大学が独自に定めた「個人情報保護規程」などの学内規程の下で保護・管理の徹底を図ってきた。また2005年4月には「法政大学プライバシーポリシー」を策定した。今後とも学内体制や規程の運用については、法令改正、社会情勢の変化、監督結果などに応じて継続的に改善し、本学ホームページや広報誌・紙媒体に掲載していく。

この「法政大学報」を発送させていただいている卒業生の個人情報についても厳格な取り扱いを行う一方、卒業後も本学と卒業生との関係を緊密にし、卒業生相互の親睦を図るために活用している。また、業務委託などで外部に情報処理を委託する場合や、卒業生組織や卒業生個人への提供についても適切な管理・監督を行ってきた。今後も確認を含めて厳格に対応していく。

本学は、卒業生カードなどで卒業生から取得した氏名、住所などの個人情報、以下の理由のために利用している。

事業室と子会社の協働の推進

総長室付事業室は1996年に学内の諸資源を利用する諸事業を検討するために設立された。大学が業者委託する設備管理、警備・受付、清掃等の保全業務や、その他収益事業、例えば、教室等施設の外部団体への貸出等を行っている。

近年では、本学の子会社である(株)エイチ・ユー、(株)法政ナレッジ・クリエイト、(株)青書の大学側窓口となっている。

大学の経費削減や業務の効率化の促進やその他収益の獲得のために、非営利法人の大学が行うべきものは事業室が、営利法人で子会社が行うべき

誌・紙に著名卒業生(出身者を含む)を掲載するため(政界、法曹界、官界、文芸界、経済界、教育界、マスコミ界、美術界、演劇・芸能界、スポーツ界などで活躍した、または活躍中の方々)。
なお第三者からの情報開示依頼については本学「個人情報開示のガイドライン」に基づき厳格に対応し、開示する場合もデータ項目を最小限に限定するように努め、また書面にて本人の確認をするなど、不正利用をされないよう細心の注意を払っている。

① 大学からの広報誌・紙の送付および大学の催し物などを案内するため。
② 大学や子会社から講座の紹介などのDMを発送するため。
③ 卒業生データベースを管理し、統計データなどを作成するため。
④ 図書館利用資格の確認およびご連絡などのため。
⑤ 卒業後のネットワーク・コミュニケーションサービスマネジメントの確立および利用者サービス実施のため。
⑥ 募金依頼関連書類の送付のため。
⑦ 法政大学 CAM PUS カードのPRおよび会員サービス実施のため。
⑧ 卒業生組織(本学公認団体に限る)からの開示請求に応えるため。
⑨ 後援会組織からの開示請求に応えるため。
⑩ 卒業生(個人)からの開示請求に応えるため(ただし理由が妥当なものに限る)。
⑪ 就職関係情報の管理の扱いに関するお問い合わせは、法政大学総務部オレシジネット校友課までご連絡ください。
TEL: 03(3264)9952 / 平日午前9時〜午後5時まで

「法政の今」をお届けします。

雑誌「法政」は、毎月20日、年10回発行している雑誌です。
巻頭企画をはじめ、教員の横顔に触れる「興味津々」、OBインタビューなど、さまざまな情報をビジュアルを交えて掲載しています。
本誌は、在学生とその保証人の方々を対象にお届けしていますが、卒業生の方も年間購読ができます。希望される方は、名前・住所と「雑誌法政の購読」の旨を明記し、

下記までお申し込みください。指定の払込用紙をお送りします。
年間購読料は1550円(送料含)です。
E-mail: pr@adm.hosei.ac.jp
TEL: 03(3264)9639

雑誌「法政」編集部
〒102-8160
東京都千代田区富士見2-17-1
法政大学総長室 広報・広聴担当
http://www.hosei.ac.jp/



■ステラピアホール

9月11日、富士見坂校舎のステラピアホール...

常磐津素語の「積恋雪関扉」を常磐津千代太夫師匠が、日本舞踊「神楽娘」を高澤爽師匠が熱演...



▲高澤爽師匠 ▲常磐津千代太夫師匠

催し「能公演」をポッドキャスト配信...

2005年9月ポアンナード・タワー2階スカイホールで行われた国際会議「BSI2005」...



地域・学校 などの連携

■九段中等教育学校の環境教育をサポート



4月から7月にかけて、人間環境学部や社会学部、工学部の学生たちが、千代田区立九段中等教育学校の1年生4クラス(160人)の環境教育授業をサポートした。

として行われたもので、学生が「先生役」として授業を展開。区内の環境問題を糸口に生徒の環境意識やまちづくりへの関心を培った。

7月21日、福井市の北陸高等学校と本学が協力し、同市フェニックス・プラザにおいて公開講演会を行った。

「夏の大学たんけん隊」現代福祉学部の高橋利一教授のゼミが主催した「夏の大学たんけん隊」...

「学びの支援フォーラム」に参加 8月19、20日に有楽町の東京国際フォーラムで開催された「学びの支援フォーラム」...

「SPDで三輪田学園の生徒に化学の授業」文部科学省の平成18年度サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)...

「化学」の魅力を伝えよう、本学自然科学センターが企画したもので、中田和秀経営学部教授が講師を担当。...

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の最先端研究を体験してもらおうと、目的に、日本学術振興会と全国の大学が共同運営するプログラム「ひらめき☆サイエンス」...

「夏の大学たんけん隊」現代福祉学部の高橋利一教授のゼミが主催した「夏の大学たんけん隊」...

「学びの支援フォーラム」に参加 8月19、20日に有楽町の東京国際フォーラムで開催された「学びの支援フォーラム」...

「化学」の魅力を伝えよう、本学自然科学センターが企画したもので、中田和秀経営学部教授が講師を担当。...

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の最先端研究を体験してもらおうと、目的に、日本学術振興会と全国の大学が共同運営するプログラム「ひらめき☆サイエンス」...

「SPDで三輪田学園の生徒に化学の授業」文部科学省の平成18年度サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト(SPP)...

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の最先端研究を体験してもらおうと、目的に、日本学術振興会と全国の大学が共同運営するプログラム「ひらめき☆サイエンス」...

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の最先端研究を体験してもらおうと、目的に、日本学術振興会と全国の大学が共同運営するプログラム「ひらめき☆サイエンス」...

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の最先端研究を体験してもらおうと、目的に、日本学術振興会と全国の大学が共同運営するプログラム「ひらめき☆サイエンス」...

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の最先端研究を体験してもらおうと、目的に、日本学術振興会と全国の大学が共同運営するプログラム「ひらめき☆サイエンス」...

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の最先端研究を体験してもらおうと、目的に、日本学術振興会と全国の大学が共同運営するプログラム「ひらめき☆サイエンス」...

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の最先端研究を体験してもらおうと、目的に、日本学術振興会と全国の大学が共同運営するプログラム「ひらめき☆サイエンス」...

者の方々に熱いメッセージを送った。

「夏の大学たんけん隊」現代福祉学部の高橋利一教授のゼミが主催した「夏の大学たんけん隊」...

「学びの支援フォーラム」に参加 8月19、20日に有楽町の東京国際フォーラムで開催された「学びの支援フォーラム」...

「化学」の魅力を伝えよう、本学自然科学センターが企画したもので、中田和秀経営学部教授が講師を担当。...

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の最先端研究を体験してもらおうと、目的に、日本学術振興会と全国の大学が共同運営するプログラム「ひらめき☆サイエンス」...

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の最先端研究を体験してもらおうと、目的に、日本学術振興会と全国の大学が共同運営するプログラム「ひらめき☆サイエンス」...

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の最先端研究を体験してもらおうと、目的に、日本学術振興会と全国の大学が共同運営するプログラム「ひらめき☆サイエンス」...

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の最先端研究を体験してもらおうと、目的に、日本学術振興会と全国の大学が共同運営するプログラム「ひらめき☆サイエンス」...

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の最先端研究を体験してもらおうと、目的に、日本学術振興会と全国の大学が共同運営するプログラム「ひらめき☆サイエンス」...



▲新舞台「滝口入道」

浅見真州氏(能楽師・本学文学部卒業生)ほか演者の皆さまの協力で見事な演出が実現した。...

まず、陸上競技の400mで期待されているのが金丸祐三君(現代福祉学部1年)。...

水泳部の中野高君 重宝選手(女子48kg級の三宅宏美さん)がキャリヤデザイン学部3年。...

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の最先端研究を体験してもらおうと、目的に、日本学術振興会と全国の大学が共同運営するプログラム「ひらめき☆サイエンス」...

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の最先端研究を体験してもらおうと、目的に、日本学術振興会と全国の大学が共同運営するプログラム「ひらめき☆サイエンス」...

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の最先端研究を体験してもらおうと、目的に、日本学術振興会と全国の大学が共同運営するプログラム「ひらめき☆サイエンス」...

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の最先端研究を体験してもらおうと、目的に、日本学術振興会と全国の大学が共同運営するプログラム「ひらめき☆サイエンス」...

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の最先端研究を体験してもらおうと、目的に、日本学術振興会と全国の大学が共同運営するプログラム「ひらめき☆サイエンス」...

世界で活躍するアスリートたち

自身初の銅メダル。授業と練習を両立させながら、父・三宅義行氏の指導により着実に記録を伸ばしてきた。...

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の最先端研究を体験してもらおうと、目的に、日本学術振興会と全国の大学が共同運営するプログラム「ひらめき☆サイエンス」...

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の最先端研究を体験してもらおうと、目的に、日本学術振興会と全国の大学が共同運営するプログラム「ひらめき☆サイエンス」...

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の最先端研究を体験してもらおうと、目的に、日本学術振興会と全国の大学が共同運営するプログラム「ひらめき☆サイエンス」...

「ひらめき☆ときめきサイエンス」大学の最先端研究を体験してもらおうと、目的に、日本学術振興会と全国の大学が共同運営するプログラム「ひらめき☆サイエンス」...



左から中野、大引、三宅、本田、金丸の各選手

主要大会結果

(05年12月、06年11月)大会名/氏名(学部・学年)

国内主要大会で優勝! アメリカンフットボール部

【自転車競技部】

【ボクシング部】

【水泳部】

【陸上競技部】

【フットボール部】

【バスケットボール部】

【バレーボール部】

【ソフトボール部】

【テニス部】

【卓球部】

【剣道部】

【柔道部】

【空手道部】

【少林寺流空手道部】

【少林寺流合気道部】

【少林寺流居合道部】

【少林寺流杖道部】

【少林寺流杖道部】

級 水田理(人間環境4) 53kg級 三宅宏実(キャリア3) 級 全日本学生個人戦/94kg級 本多滋(文3) 105kg級 水田理+105kg級 野原兼太(法4) 全日本選手権/48kg級 三宅宏実

【弓道部】 全日本学生王座決定戦/男子団体

【水泳部】 全日本学生選手権水泳競技大会/200m背泳ぎ 中野高(社会4) ※日本新記録

【陸上競技部】 世界ジュニア・カテ選手権大会/ジュニア男子フルール11位 黒友薫(経営1) サイプル出場 田中瞬(法2)

【フットボール部】 世界ジュニア大会/56kg級5位 中山陽介(経営2) 世界選手権/94kg級出場 水田理 48kg級3位 三宅宏実

箱根駅伝、応援よろしくお願ひします! 昨年の東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)において復路優勝、総合7位と見事な成績を残した陸上競技部。今年も「暁の勇者」たちが1月2・3日に箱根路を疾走します。卒業生の皆さまのあたためたい応援をよろしくお願ひします!